

「主を待ち望む者は新しく力を得、  
鷺のように、翼を広げて上ることができる。  
走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。」  
(イザヤ 40:31)



ハレルヤ！ 本格的な春ですね。冷たい土の中で育みたいのちが、少しずつ力を付け、暖かき日差しの中で一気に動き出す如く、チャーチ&ホームスクーリングの歩みも、神さまの光の中で躍動し始めています。

昨年11月、チア・奥多摩フィールドトリップが神さまの恵みと憐みの中で、開催されました。コロナ禍でもあり、想定では参加者15～20名ほどでしたが、122名もの皆さんが申し込んでくださいました。神さまが与えてくださった、晩秋の暖かさと紅葉の中で、「鍾乳洞探検」や「釣り堀・つかみ取り・さばき方教室」ほか、ワイルドで楽しい、励まし合いの1日を過ごすことができました。皆さんのご参加・お祈り、感謝です。

今年は、3年ぶりにチア・コンベンションの開催（10月中旬 東京・大阪）を予定し、新たなチャレンジも始まります。ぜひ、ご参加、また祝福のお祈りをお願いします。

国会等での多様な教育、ホームスクーリングをめぐる法的環境整備も進んでいます。超党派「多様な学びを創る議連総会」も開催され、チアからもアップデート&提案をさせていただきました。

チアからの提案の一つに、「高校入試内申書における『出席日数』等の条件の見直し」等があります。感謝なことに、東京都立高校の推薦・一般入試で、今春から内申書の「出席・欠席日数」の記入が中止・削除されました。

「多様な教育」の時代的な流れの中でもあり、「学校への出欠数」が必ずしも受験生の実力を表さない等の理由からです。ホームスクーラーでスポーツ・芸術系の召しを神さまから頂き、高校に籍を置きつつ、大会を目指す子どもたちがいます。そんなホームスクーラーに対し、「出席・欠席日数」に関係なく、都立高校の扉が開かれました。全国の多くのホームスクーラーの皆さんにとっても、これまでの「学校出席」に縛られない新しい教育の先事例があることは前進です。間接的ですが、ホームスクーリングの環境整備にもつながり、社会的に「学校一本やり」の時代が過ぎ去るステップになります。多様な教育・ホームスクーリングの啓発・理解につながっていく、奇跡の前進の一つと感じています（詳細は6ページから）。

こうした新しい展開・発議も含め、今回は、超党派「多様な学びを創る議連」事務局長の寺田学衆議院議員と寺田静参議院議員とのインタビューも行え、その記事も同封させていただきました。聖書に立つホームスクーリングの法的・制度的環境整備についても、引き続き、お祈りいただければと思います。

ホームスクーラーの進路、近況、ご結婚等、うれしい知らせも届いています（25～30ページ参照）。

新緑の春、苦難・喜び、山あり谷ありの中でも、主にあって驚のように飛んでおられる、すべての皆様へ、イエスさまからのますますの祝福があることを祈っています。

主にありて

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

## 奥多摩フィールドトリップの恵みと祝福

初冬の奥多摩フィールドトリップ、お祈り、ありがとうございました。前日からの冷たい雨が朝には上がりました。神さまの憐みで、奥多摩にかかる幻想的な朝もやに、まぶしい日差しが差し込み、澄み切った青空が現れ、ポカポカ陽気と解放感に包まれました。

参加者の皆さんも、鍾乳洞、キャンプ場での釣り堀・つかみ取り・炭火起こし&魚のさばき方教室をエンジョイしました。さらに、互いのアップデートや交わりに励ましとチャレンジを受け、当日、体調不良で来られなかった皆さんを含め、申込者122名が心から神さまを讃える1日となりました。以下、寄せられたコメントの一部です。

「娘は帰り掛けに、『もう一度、朝に戻してほしい。そうしたらまたみんなと楽しく遊べる』と、何とも可愛らしいことを言っておりました」「楽しませてもらいました。初めての参加でしたがホームスクールされ

ている方と交わりが持てたことに感謝しました。子どもたちの目が輝いていたのが印象的でした」「火のおこし方を教えていただく中で、細い木から燃やしていくとおっしゃっていました。私たちの働きも、まず家族という単位がイエスさまの愛を受け、小さな焚き火として燃え、その火がまた他の家族へと燃え移っていくのか



「僕が魚、押さえてるから!」「(父) 魚のお腹をね…」



「魚さばき方教室」にて



チア・コンベンション 2023  
基調講演者  
ハル&メラニー・ヤング夫妻  
（『聖書に立つ男の中の男を  
育てるミニストリー』代表）

なと思いました。小さな細い木というのが印象的でした。イエスさまから用いられやすい細い木でありたいと思いました」といったコメントをいただき、励まされました。お祈りとサポートを心から感謝申し上げます（アンケート詳細は18～22ページへ）。

## チア・コンベンション いよいよ10月開催へ

今年は、3年ぶりにチア・コンベンションの開催（10月中旬 東京・大阪）が予定されています。ぜひ、ご参加とお祈りを願います。

基調講演者は、アメリカのハル&メラニー・ヤング夫妻です（『Raising Real Men（男の中の男を育てるためのミニストリー）』代表）。チア・カリフォルニア・コンベンションを始め、全米のコンベンションで好評を博しているご夫妻です。2022年のコンベンションを承諾くださっていましたが、コロナ禍により延期となり、今秋にスライド登板くださることとなりました（スティーブ・シェイブナー氏夫妻は2024年コンベンションに登板予定です）。

ヤングご夫妻は6人の息子と2人の娘をホームスクーリングで育てつつ、出版、講演、ブログ等で子育てに関するメッセージを送り、多くの親たちを助けてきました。

夫婦二人で話し合いながらの講演もあり、型破りで実践的、聖書的なメッセージが評判です。聖書に立ちながら、「男の中の男を育てる方法」「いじめ対策」「ティーンエイジャーが親と離れないための聖書の秘訣」「発達障害—読書が苦手な子どもたちのために」「神さまに与えられた天才児（ギフテッド）への寄り添い方」「リラックスしたホームスクーリングで難関大学を突破する方法」等、ホームスクーリングの日常と関連の深いトピックが並びます。

また、子どもたちの「怒り」の問題に関連し、チア・にっぽんから出版した以下の2冊を推薦されています。テッド・トリップ博士の『聖書が教える親と子のコミュニケーション』（現在、売り切れ中。4月中旬に第4版の出版予定）、ルー・プリオロ博士の『キレル子どもたち』（販売中）です。

このように、チアとの継続・連携性もあって、素晴らしいと思いました。

## ジョイス・イノウエ女史も再来日へ！ 学習障害、ADHD等への聖書的対応

学習障害・発達障害分野において、実践と研究を重ね、子どもたちは「恐ろしいほど奇しい」存在として、励まし続けてくださっているジョイス&リチャード・イノウエ夫妻も、来日が決



4年ぶりの来日決定！  
リチャード&ジョイス・イノウエ夫妻  
「LD 学習障害・多様性への聖書的アプローチ」

定しました。ご本人は闘病中ですが、来日可能な状態とのことで、4年ぶりの来日が実現の予定です。毎回、人気のセッションです。「発達障害」「学習障害」「ADHD」等は、チアへの相談件数が増えている分野でもあります。6つのセッションを準備して下さっています。

ホームスクーラーママで、ADHD、自閉症等への聖書的対応を含め、カウンセリングの資格を取った辻奈央子さんのセッションと共に、現在、事前質問等も受付中です。ご期待ください。

## LIT & ボランティア・スタッフ募集！

今回は、恒例のLITも募集しますが、チルミニ専門のボランティア・スタッフも募集します。また、東京・大阪での当日ボランティア・スタッフも公募します。既にお子さんが成人された皆さん、あるいはホームスクーリング真っ只中で少し別角度でも動いてみたい方など、年齢、既婚・独身を問わず、バックアップいただける方はこぞってお申し込みください。

今からスケジュールを確保し、お祈りをどう

ぞよろしく申し上げます。

## ホームスクーラーママへ 趣味・休息・ミッションのすすめ

最近、問い合わせやアップデートで寄せられるテーマの一つに、「ホームスクーラーママの職場・ミッション復帰」があります。チアとしては、基本的に、ホームスクーラーママが、煮詰まってしまうたり、燃え尽きたりしないように、趣味や休息、リフレッシュを積極的に取ることを勧めてきました。様々な犠牲や忍耐はもちろん大事ですが、ホームスクーリングは、ウルトラマラソンのような側面があります。休みや自分の時間も長期的に見て大事だと考えます。

この分野でしばしば思うことがあります。「神がなさることは、すべて時にかなって美しい」（伝道者3：11）ということです。ホームスクーリングがひと段落したところで、司法試験に挑戦し、弁護士となったメアリー・スコフィールドさん（チア・カリフォルニア元理事、チア・コンベンション講師）始め、日本でも、介護士、カウンセラー、農家や様々な資格取得に挑戦するホームスクーラーママ・パパたちが最近、増えています。

また、HSLDA（ホームスクーリング法的擁護協会）の故クリス・クリッカ弁護士の奥さんであるトレーシーさんの事例もあります。彼女は6人をホームスクーリングする傍ら、「趣味の時間なしでは続けられない！」と、夜、キャンパスに絵を描き続けていました。その姿は、取材した私の心に今も残っています。

そうした中、子育てを優先してきたホームスクーラーママの岡田愛さんから、「時至ってゴスペルシンガーとして16年ぶりに復帰した」という嬉しいレポートが届きました。まさに「神がなさることは、すべて時にかなって美しい」です。詳細は、30ページで紹介します。

## レポート 「超党派多様な学びを創る議員連盟」 序章 国会での励まし

衆議院議員会館にて、「超党派多様な学びを創る議員連盟総会」の開催が続いています。会では、チア・にっぽんからも「アップデート&3つの提案」をさせていただいています。

前回の総会終了後、8人の国会議員の皆さんが私の席へ来てくださり、今後の個人面談などを申し出て励ましてくださり、心から神さまを讃えました。

以下、永田町での一日を3部に分けて報告させていただきます。

### 神さまと外部からの励まし 「神はすべてをご存じだから」 (Iヨハネ3:20)

11月11日、11時40分、衆議院第一議員会館に、チアからの参加者3名が集まりました（今回、チア・にっぽんへの招待枠は3名でした）。カメラマンのA君（ホームスクーラー卒）に加え、「ホームスクーリングで2人を育て上げ、今は不

登校支援のミッションを行うBさん」が、参加したいとのご希望を寄せてくださり、一緒に参加しました。

ランチミーティングでBさんが話しました。

「不登校支援の事務局のCさんに、『チア・にっぽんのメンバーとして議連総会に参加する』と話したら、『いいなあ』とうらやましがられました。その方はチア・にっぽんをご存じでした。東京のDインターナショナルスクールのE校長先生から聞いたそうです。『国会内でのチア・にっぽんの働きは、すごいんだよ。教育機会確保法が今の条文で成立した背景には、チア・にっぽんの貢献が大きかった』とCさんに話したことです」

「(稲葉) へー、それは面白いですね(笑)」

「(Bさん) 私も国会内でのチアの働きがそこまで大きいとは知らなくて。ほとんどのチア・メンバーの方もそうじゃないかしら」

「(稲葉) そうかもしれないですね。でも、神さまと外部の皆さんがよくご存じというのは、素敵ですね」

「(Bさん) そうですね」

「(稲葉) マガジンやNLを読んでくださっている方は分かってるだろうけど、多くの皆さんは、



「超党派多様な学びを創る議連」総会（衆議院議員会館にて）



新たに選出された  
丹羽秀樹会長と  
浮島とも子幹事長  
(お二人ともチア・マガジン  
44号にインタビュー記事を  
掲載)

何か国会関係でチアが動いているようだ、という認識かもしれないですね^^;」

「(Bさん) そうそう。私も、稲葉さんが何だかいろいろ動いているなという感じだけでした。ごめんなさい」

「(稲葉) 大丈夫です(笑)。正直言えば、すべて神さまの奇跡だし。たくさんの不思議な展開が続いています。でも、外部のEさんやCさんが良く知っていて、評価と敬意を持ってくださるというのは、感謝ですね。第一ヨハネ3章20節、『神はすべてご存じだから』ですね」

「(Bさん) そうですね」

そんな思いもよらないコメントに励まされながら、会議室へと向かいました。

## 議連総会スタート

### 議員連盟の名称が変更された意味と前進

浮島とも子新幹事長から「新しい会長として、丹羽秀樹会長が選出され、ご承認いただきました。また今回から、議員連盟の名称を『フリースクール等議員連盟』から、『多様な学びを創る議員連盟』へと変更させていただきます」との話がありました。

先の選挙で、河村建夫前会長は引退され、馳浩前幹事長は石川県知事に転出されるなど、議連もずいぶん新しい顔ぶれとなりました。

丹羽会長(元文科副大臣)も、浮島幹事長(元文科副大臣)も、「教育機会確保法」の成立に向けて、私どもに個人面談・取材の機会を与えてくださり、耳を傾けてくださった旧知の先生方で、とても感謝な存在です(チア・マガジン44号掲載)。

『超党派多様な学びを創る議員連盟』に名称変更となったことも大きな前進の一つだと思います。これまでの『フリースクール等議連』も、フリースクールやホームスクーリング等を含むという意味であり、悪くはありません。でも今回は『多様な学びを創る』との理念が前面に出て、良かったと思います。

全国の不登校生数は、文科省の発表によると約30万人(高校生約5万人を含む)。これに対し、フリースクール生は全国で約4千~6千名あまりと2%弱です。フリースクールという既存の学校に代わる、新しい学校の支援も大事です。でも、フリースクールなどに通わない不登校生は圧倒的多数で、その陰に隠れがちです。何より、すべての子どもたちには保護者・親がいて、

聖書では親たちが使命と責任を委ねられていることを繰り返し強調しています。その親たちに寄り添い、サポートすることが鍵を握っています。多くのニーズと可能性のある自宅学習の子どもたち、ホームスクーラー等をしっかりとイメージした、多様な教育環境の整備が大切になってきます。

フリースクールの子どもたちにしても、保護者の皆さんはおられるはずですから、「家族」「ホームスクーリング」という視点で助けなければ、フリースクールの子どもたちへの支援にもつながっていきます。

保護者も含めて、すべての子どもたちに寄り添い、助けていく法的な環境整備、多様な教育の環境整備が必要です。

その意味で、議連の皆さんが「フリースクール等議連」から「多様な学びを創る議員連盟」という新しい名称を打ち出し、現実をしっかり寄り添っていかうとの姿勢は評価でき、神さまを讃え、祝福を祈った次第です。

## チア・につぼんからのアップデート&3つの提案

### 寺田学衆議院議員

#### （「多様な学びを創る」超党派議員連盟事務局長）

それでは、チア・につぼんの稲葉さん、現場からの声ということでお願いします。

### 議員・文科省・関係者への感謝

**稲葉** ありがとうございます。チア・につぼんはプロテスタント系のクリスチャンのホームスクーラーや、全国のフリースクールの皆さんを中心にサポートさせていただいています。

最初に申し上げたいのは、国会議員の先生方への感謝の想いです。チア・につぼんは設立して23年目になりますが、「教育機会確保法」ができ、確実に理解が広がってきていると感じます。

もちろん、私たちのもとに寄せられる相談では、「教育委員会にこう言われた」「校長先生に



チア・につぼんからのアップデート&提案  
（「超党派多様な学びを創る議員連盟」総会にて）

こう言われた」と、否定的な反応もあります。しかし、「教育機会確保法」の文言に記された「多様で適切な学習活動の重要性に鑑みる」との文言に基づき、法律が新しく打ち出され、文科省からの通知が出されています。

また、学校・教育委員会が尊重しなければならない義務責任について学校側に説明すると、「私たちの勉強不足でした。すみませんでした」と収まっていくケースがすべてです。この法律ができたことによって、全国の理解も広がり、子どもたちの貴い人生の環境整備がされてきています。

本日も大変お忙しい中、たくさんの議員の皆さんがこのように集まってくださっていること、文科省や関係者の皆さんが力を尽くしてくださっていることに、心から御礼申し上げたいということが最初にお伝えしたい1点です。



## 初の裁判官誕生！

そうした中、みんなで喜んでいるニュースですが、今年初めて裁判官に任官したホームスクーラーが生まれました。高校までずっとホームスクーリングをしながらの合格です。今まで弁護士になった子は2人いましたが、裁判官は初めてで、皆さんにも感謝しています。もちろん、難関試験に受かるためのサポートが私たちの使命ではないのですが、全国で多様な教育を進めている皆さんへの励ましになっているということです。先生方、皆さん、ありがとうございました。

3点、後押しをお願いしたい点を提案させていただきます。

### ①教育機会確保法における 対象者の定義への追記

#### 文科省省令にある「社会的要因」を加え、 ポジティブな実質に合わせる

「教育機会確保法」の発布から3年後の改正が法律に定められ、議連の先生方も取り組んでくださっています。

まずお願いしたいことは、教育機会確保法の3条の附帯決議です。現在は「心理的な要因によって就学できない子のための法律」、つまり、心に病気を持つ子を支援するための法律とのニュアンスだけで、定義されています。もちろん、ある基準からは「心理的な負担のある子どもたち」と判断される子もいます。けれども、違う視点から見れば、その子たちも含め、今後輝きを見せるダイヤモンド・大器晩成タイプであったり、特別な分野の天才児であったりします。「心理的な負担」を抱えた病気の子が対象者という一つの断面で限定・定義すべきではないわけです。

つまり、多様な学習環境によって今後大きく伸びていく、未完の大きな可能性を秘めた子どもたちが対象者です。一人ひとりにあった多様な教育を選択し、その機会が確保できるという積極的なまなざし、そうした文言を加えていた

だくことを願っています。

文科省の皆さんは、先行して2019年2月18日に省令として出してくださっています。「心理的、もしくは社会的要因によって」と広く定義され、書き加えてくださいました。その点を法律改正時に、法律の文言に「社会的要因」と加えていただき、広くポジティブな実質に合わせ、定義していただければと思います。

### ②自宅学習の「出席扱い」の啓発 ——高校入試の「出席日数」条件の 是正について

先ほど、文科省初等中等教育局の藤原章夫局長から、興味深い数字が報告されました。自宅学習者が1万1千人に増えたということで、令和元年の600人あまりと比べると約18倍もの増加で良かったです。

しかし、地域の教育委員会、校長の認識や判断によって条件設定等が大きく異なり、実質的に自宅学習を出席扱いにするのは厳しい地域が多いです。多様な教育への啓発・理解につながることであり、多くの後押しをお願いしたい現状です。

特に高校入試の段階で、例えば「欠席日数が3年間で10日以上ある場合は、推薦入試等は問題外」という高校が多いです。「教育機会確保法」においては、「休養」の重要性を認めていくのだと、浮島先生や寺田先生を始め、議員の皆さんが法律の文言として入れてくださいました。

しかし、その法律に従って休養した子どもたちは、高校入試という次のステップに進むと「欠席した子はだめなんだ」と判断され、推薦では道を閉ざされるのが現実です。休養し、多様な教育で力を得て、オール4やオール5の成績を取り、校長先生が「よく頑張った！」と客観的に認め、推薦しても、高校側は「一般入試なら受かるかもしれないので、そちらでどうぞ」と道を狭め、閉ざすのが現況です。

このあたり、ぜひ早急に後押しをご検討いただければ幸いです。

### ③文科省 HP に 「多様な教育」関連コーナーを！

最後に文科省のホームページについてです。私どもからもお願いをし、ホームページに新しく「多様な教育」に関するコーナーを作っていました。しかし、そのコーナーになかなかたどり着けない作りになっています。せっかく良い動きが進んでいますので、ホームページの改善も進めていただければと思っています。以上です。

**寺田事務局長** ありがとうございます。そのあたり、議連としてしっかりと受け止めさせていただきながら、今後、検討を重ね、対応していければと思います。浮島幹事長からも、お話しいただきたいと思います。

**浮島とも子超党派議連幹事長** 本日は、多くの議員、関係者の皆さんにお集まりいただき、このような貴重なお話を伺う機会をありがとうございました。「教育機会確保法」を作らせていただいた時にも、皆さんから、たくさんのご意見、ご提案をいただきながら進んでまいりました。けれども、まだまだたくさん課題があります。一人ひとりに光の当たった教育、笑顔あふれ、一人ひとりがいろいろなところで活躍できる未来を目指し、超党派で心を一つにしながら議論を重ね、進めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。本日は本当にありがとうございました。

### 8名の議員や全国からの励まし 主を待ち望み、驚のように翼広げて

総会終了後、これまでにない光景がありました。私のところに、この日に初参加された国会議員の皆さんが、ニコニコしながら名刺を持って挨拶に来てくださいました。

「(A 議員) ぜひ、がんばってください。よろしくお願いします」

「(B 議員) 先ほどの発表、とても感動しました。ぜひ、詳しく聞かせてください」

「(稲葉) 分かりました。では、アポイントを取らせていただいて」

「(B 議員) ぜひ、そうしてください」

「(C 議員) 私も、ぜひ、よろしくお願いします」

「(稲葉) (同じ党の) F 先生には、これまでもいぶんお世話になってきました」

「(B 議員) はい。F はもちろんですが、これからは私ともよろしくお願いします」

「(D 議員) 素晴らしい展開ですね。よろしくお願いします」

「(E 議員) 感動しました。私は E と申します」

「(稲葉) E 先生、既に存じてますよ。前回の総会后、お話ししましたよね。今度、面談に伺います」

「(E 議員) ぜひ、そうしてください」

「(B 議員) それでは連絡、お待ちしておりますね。頼みますよ」

「(稲葉) 分かりました。よろしくお願いします」という状況でした。

この7-8年、私の方から各議員の皆さんに名刺をお渡しし、個人面談をお願いして…という展開が多かったのですが、議員の皆さんが列を作り、励まし、面談依頼で声をかけてくださることは、ほとんどなかった現象です。

一緒に参加したチア・メンバーのBさんも「楽しかったー。チアがこんなに用いられていることを知れて、驚きでした」とのことでした。

チアのオフィスには、ほぼ毎日のように全国の皆さんからご相談が寄せられています。お一人おひとりに少しでも寄り添い、微力でも役立たせてくださいと祈る日々です。そうした皆さんのことを思いながら議連総会に出席し、提案しましたが、何か新しい力と励ましを与えられている気持ちがしました。

聖書にある通り、主を待ち望んで新しく力を得、驚のように翼を広げ、歩み続けていければと、なお一層祈りながら帰りました。

「しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ」(イザヤ40:31) ですね。

## 年末年始伝道

今年も、丸森の伝道チームの年末年始の路傍伝道に、次男のジョセフ（14）と一緒に加えていただきました。丸森の皆さんは、日ごろチアのイベントでチルドレン・ミニストリー等を手伝ってくださっています。

路傍伝道に先立つ教会のクリスマス礼拝に、私とジョセフのそれぞれの友人が来てくださる予定でした。ところが、直前に二人ともキャンセルとなってしまいました。しかし、急きよ別の友人が来てくださり、神さまの不思議を改めて思いました。そのタイミングでの路傍伝道でした。

渋谷で聖句看板を持ったジョセフは「楽しかった！ いろんな人が話しかけてきた」と喜んでいました。「プロテスタント？ カトリック？」「ユーチューバーなんだけど、閲覧数増やすアルバイトしてくれない？ 一人100円とかで」（ジョセフ）え、無理っす」という感じでした。

「（ジョセフ）50～60代の人たちは、何やってんだ！ という感じで冷たく見ていく人たちが多かったかも…。若い人たちや、高齢の人たちは、とても好意的に聖句を読んでいったよ」

「（稲葉）そうだね。子どもたちや若い人たち、40代ぐらいの人たちは、神さまに心を向けやすいのかもしれないね。50～60代はまだ元気で、自分の力でできる！ と思ってるし、幼い頃や若い頃に持っていた、神を求めるような純粋さを失っているケースが多いのかもしれない。でも70代以上になると、自分の限界も知り、人生体験も増え、神さまの存在や必要性に気づき始めているケースが多いのだろうね」と話し合えました。

10年前に右翼の街宣車で演説し、伝道チームに敵対していたAさんにも出会いました。Aさんは、その後イエスさまを信じ、毎年伝道チームを訪ねてこられます。「（Aさん）年々、さわやかな気持ちになっていくというか、とにかく伝道チームに感謝しているのです」とのことでした。

伝道チームには、チアのメンバーの皆さん、ホームスクーラーの卒業生たち、関東、関西、



約1時間、聖句プラカード、手伝ってみました！（明治神宮前にて）

北海道や四国など各地から参加しています。

伝道をめぐる環境は年ごとに穏やかになり、行き交う人々や警察の間でも、理解が広がっている感じがしました。1件だけ、酔っぱらった方が、女性メンバーの持つ聖句看板のスピーカー・コードを引き抜こうとして止まらず、リーダーの十三男君が警察を呼ぶことができました。警察はすぐに来て、酔った方が「伝道なんかやめさせろ」と言ったそうです。警察官は「伝道の皆さんは、憲法に則ってやっていて、交通の妨げもしていません。言論の自由や宗教の自由が憲法で保障されていて、権利が保障されています。あなたは妨害をやめないといけない。もし、機材を破壊したらそれは犯罪になるし、強要罪ほか、あなたが様々な犯罪をしたことになり、逮捕しなければならなくなります」と、制止してくださったとのことでした。

この伝道は、戦後まもなく来日された宣教師の皆さんと日本で救われた皆さんらが心合わせ

て、継続されてきました。神さまの恵みと祝福の中、70年あまり積み重ねられた路傍伝道です。継続は力だと思いました。

## お正月の明治神宮での反響

「キリストの血は罪を清めるかー」

「わ、聖書が看板になってる」

「(6歳ぐらいの子ども)キリストは罪びとを赦す。罪びとって?」「(母)罪を犯した人でもキリストは許すということかな」

「人は死後、裁きにあう。やべ!」「聖書、スゲ」

「スピーカーでのメッセージの朗読はないのですか?」「(稲葉)あ、いつもはありますが、今回、明治神宮前ではないですね。ありがとうございます」「スピーカーがないと、迫力がないというか」「(稲葉)そうでしたか。そう言ってもらえてうれしいです。リーダーに伝えておきます」

「(アメリカ人クリスチャン)写真撮っている? ナイス! 頑張ってる」

「(コロンビアの方)私、感動しました。私もやります」

「(チア・メンバーCさん親子)30分ぐらいですが、私たちも手伝ってもいいですか?」

「(チア・メンバーDさん母子)イスラエルに3カ月、母子で行ってきて、良いホームスクーリングができました。すごく現実感が出た。今年も伝道できて感謝」

「(チア・メンバーEさん)カンボジアでも伝道してきました。カンボジアでは、どこでも感謝して聖書とかもらっていきます。日本はそうではないけど、でも、日本でも、みんな看板をよく見てくれてると思います」

## 死ぬこと以外はかすり傷

ジョセフが野球の試合中、大事故すれすれの危険から守られ、神さまを讃える出来事がありました。命に関わる事故を考えれば、あれこれ悩んでいることは、小さなかすり傷にすぎないことを一層示された気がします。本質とは関係ないことで悩まず、悔い改めつつ、おおらかに、神さまに目を向けて進んでいくことを教えられます。

聖書にある通り、「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」(ピリピ4:6、7)が示されます。

その事故は、ある決勝戦で起こりました。サードを守っていたジョセフは、大きなファールを背走で追いかけて、レフトのファールゾーン&観客席側に向かっていました。そのグラウンドは特殊で、レフトファールゾーンと観客席の間に、幅2m×深さ80cm×長さ40mのコンクリート製の排水溝が敷設されていました。ジョセフは全速で背走したままジャンプし、捕球を試み、排水溝に顔から落下、コンクリートに激突しました。そばで見ていた私には「ゴツン!」という、骨がコンクリートにぶつかる鈍い音が聞こえました。ジョセフはなかなか起き上がってきませんでした。

試合後、「(やった!ボールがグラブに入った!)」と思ったら、(あ、足がつかない!)となった。その記憶が最後で、その後、まったく覚えてない。(気絶して約1分後)コーチがベンチから駆けつけ、『ジョセフ、大丈夫か!』と声をかけてくれて、そこから記憶が戻った」とのことでした。幸い、落下した時に空中回転し、無意識に受け身の体制を取って肘から落ち、頭部や顔面の強打から守られました。

審判らが、ジョセフに試しにファースト送球等をさせた後で、試合は再開。次のイニングに、ジョセフは大きなセンターフライを打ちました。その裏、守備についたところで、肘の痛みが耐えられなくなり、監督に選手交代を申し出ました。

病院での検査の結果、幸い、骨折やじん帯損傷はなく、骨の打撲で全治4週間との診断でした。医師からは、「普通なら骨折だけど、良質な骨で良かった」と言われ、主を賛美しました。

翌日、本人の話をよく聞くと「サードに戻って送球練習した時、心配して来たチームメートの顔の色が緑色に見えた。グラウンドの土は全部真っ赤に見え、『これは、ひどいことになった!』と思った。ファーストに何球か投げたら、色が普通になってほっとした」とのことでした。



ジョセフは、決勝戦でサード・ファールフライを背走。ボールをキャッチ後、排水溝に落下。足が着かず、無意識に空中回転し、右肘の受け身で頭・顔の強打・大事故を免れる。脳しんとうと肘の骨の打撲（全治4週間）でクリア。神さまに感謝！

それで、脳神経外科にも行き、脳の検査等を重ねました。医師からは「脳しんとうですね。頭を直接打たず、体だけでも激しく打てば、脳しんとうが起きます。でも今、後遺症等は引きずってないから、大丈夫でしょう」と言われました。翌週、あと1勝で全国大会に出場という準決勝戦があり、そこにも出場しつつ、1カ月後には痛めた右肘の骨も完治できました。

事故の瞬間の写真を見ると、足元手前のブロックをまたぎながら落ちていました。もし、5cmずれて、ブロックに足がぶつかり、つまずいていたら、受け身の間もなく、頭や顔を激しく打ち付け、脳や命に関わる、もっと大ケガになっていたと思います。神さまが守ってくれたことは言うまでもありません。

『死ぬこと以外はかすり傷』という本を読んだことがあります。ホームスクーリングをしていると、様々な困難・苦難に悩むことがあると思います。子どもたちとの関係や行動に悩み、ショックや失意の中で相談が寄せられるケースもあります。願った通りにいかずに苦しむ場面は、誰しも体験されることと思います。

そんな苦しい時、まずは親が揺れず、思い煩わず、主にすべてを感謝して祈り、おおらかにとらえては、と思わされます。私自身、そのことを分かっているながらもできず、一喜一憂したり、いらいらが顔に出て子どもを失望させることがあります。

そんな時こそ、「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」(ピリピ4:6、7)を示されます。そして悔い改め、主に顔を上げます。それでも、またいらだったり、がっかりしたりして、ミスを繰り返してしまいましたが、三日坊主も20回続けば前進できると思い、また悔い改めて進みます。「神へのいけにえは 砕かれた霊。打たれ 砕かれた心。神よ あなたはそれを蔑まれません」(詩篇51:17)を思う日々です。

「死ぬこと以外はかすり傷!」。表面的なことには目をつぶり、本質に目を向け、自分自身(親)

が揺れず、過干渉にならず、見捨ててもせず、安心させつつ対応できるよう祈る日々です。

完治して2週間後、ピッチャーをやっていたジョセフはホームに猛ダッシュし、ランナーをタッチアウトにします。その時、右手をはじかれ、指間筋肉が裂け、再び全治4週間のケガを負いました。山あり、谷あり。すべてを感謝し、形より本質、死ぬこと以外はかすり傷！で進むことにしました。

## 良き知らせ！ 合格・結婚、そして——

うれしい知らせに心躍ることも多い日々です。2年前、ホームスクーラーのA君から「心理カウンセラーの道に進みたいが、どう思いますか？心理学部がいいか、医学部がいいか…」と尋ねられました。私は、神さまの導きと自分に与えられた志を一番にすることを確認しました。「神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方」（ピリピ2:13）です。

その上で、地元の国立大医学部への挑戦、そして在学中にアメリカのクリスチャン系大学のカウンセリングコースを受講することを勧めました。当時のA君の医学部合格の確率は最下位のE判定。でもA君は、そのチャレンジに「その案、いいと思います」と賛同してくれたため、「親御さんに伝え、相談すること」を勧めました。

親御さんも賛成し、その後、お母さんから質問が来ました。お母さんは、A君には自宅から通える地元の大学に進学し、大学時代も魂の育成第一で、ホームスクーリングマインドで過ごしてほしいとっていました。お父さんは、A君の志望・将来の可能性が優先で、東京等の大学に進学し、一人暮らしでもよいと考えていました。

お母さんがおっしゃる通り、大学時代もホームスクーリングマインドで過ごすことは大事です。私はお母さんの志しを讃える一方、A君の将来の可能性を考えるお父さんの気持ちも理解できました。いろいろな大学の試験を受け、試験慣れをするメリットもあると思いました。

また、「大学生になっても、子どもたちが神さ

まとの絆を一層、深めていけるように、共に、日々励んでいきましょう！」と励まし合いました。

その上で、第一志望を地元国立大医学部にし、そのほかに東京もしくは他の地区や海外の大学を受験する案を伝えました。ご両親も本人も賛成し、心一つ、一枚岩で向かうことになりました。1年後の昨年2月、第一志望の模試判定はE判定のままで、結果は不合格。そして今年、第一志望の地元国立大の二次試験を1週間後に控えた段階で、第二志望以下の6つの大学・学部試験は5勝1敗でした。

なぜ合格できたか尋ねると、「(A君)1年前に、なぜ受験勉強をするのか、この受験勉強が今後の人生にどう役立つのか、深く考えてみました。すると、役立つことが具体的に見えてきて、受験勉強に集中できるようになりました」とのことでした。すごいことだと思いました。

また「去年の4月のチア・進学セミナーを聞いて、次は僕がE判定からの合格！で、証しし、全国の皆さんを励ませるようになる！とも日々、心に刻んで進みました」とのことでもあり、うれしく思いました。

一つだけ不合格だった大学は、面接試験がありました。心配したお父さんから、試験1週間前に相談を受け、面接対策のポイントを伝えました。そして、親子で面接模試を毎日行うことを勧めました。試験3日前、A君から面接模試の試験官になってほしいと依頼があり、面接試験前夜に特訓を行いました。

「暗記したことを間違えないようにと話すのではなく、言い間違えてもいいので、神さまに知恵とコミュニケーション能力、憐みの心を求めながら、本当に自分が思って、感動していることを、真心で話す」等、約1時間、直前特訓をしました。

結果は、見事合格！2年前～昨年2月はE判定からの奇跡の合格です。「面接練習をきっかけに受験の目的や神さまとのつながり、人に対する姿勢などを学び、良い雰囲気でも本番に臨むことができました」とのことです。

結果的に、自宅から大学に通い、ホームスクーリングマインドで生活してほしいとお母さんの祈りも聞かれました。いろいろな体験をさ

せ、本人の志しを優先させたいとお父さんの祈りも応えられました。まさに神さまの不思議な計画があったことを思います。

幼少の頃は、さほど受験対策をせず、でも大器晩成で、信仰・人格や勤勉さを育成し、主の時が来たら一気に伸びる、典型的なホームスクーラーのパターンです。これまで、チアにご連絡いただいた方言えば、5人目の医学部合格者でした。

上記の通り、もちろん、チアは難関大の合格を目指しているわけではありません。どんな進路であっても、祈りながら努力を重ねた結果の合格の知らせは、とてもうれしいです。

ほかにも、うれしい合格、就職の知らせが届き、主を讃え、保護者の皆様のご尽力に感謝しつつ、喜んでいます。

結婚の知らせも届きました。旭川の杉本（旧姓：須田）琴さんが結婚されたことを、お父さんが知らせてくれました。ご本人いわく、「サマーキャンプや白馬セミナーなど大変お世話になりました！ とても楽しく、忘れられません」とのことです。お父さんは、旭川で起こった女子中学生いじめ凍死事件について、特に心を痛め、琴さんの結婚を機に、伝道活動をスタート、尽力しておられるとのことです。

ほかにも何人かの皆さんから、うれしいご連絡をいただきました。我が家の長男、真祈史(31)も2月にめでたく結婚しました。ホームスクーラーたちの新しい家庭のために、引き続き、お祈りいただければ幸いです。

## 寺田議連事務局長夫妻との面談

2月下旬、超党派「多様な学びを創る」議員連盟事務局長の寺田学衆議院議員、奥さんの寺田静議員との面談・インタビューの機会が与えられました（詳細は同封の冊子）。

いつも撮影を手伝ってくれているホームス



琴さん、結婚へ！

ホームスクーラー OB/OG の結婚の知らせも続々…

クーラーの中山龍人君の言葉も印象的でした。「今日の取材を通して、ホームスクーリングが実行しやすくなるように、心を一つにして取り組んでくれていることが分かりました。すごく感謝です」。とてもうれしく、神さまを讃えました。

## 鷲のように上る（イザヤ 40：31）

「山あり谷あり」のホームスクーリング。でも、父なる神は、いつも支え、力を与えてくださっている恵みを思います。

「主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ」（イザヤ 40:31）ですね。神さまの恵みと憐みに感謝し、これからもお一人おひとりへのサポートと、法的環境整備への尽力を続け、10月のコンベンションに向けた準備を重ねていく所存です。力不足なので、お祈りいただければ感謝です。引き続き、皆さんへの祝福を祈っています。

主にありて

稲葉 寛夫



会場・日時

10月13日(金)～14日(土)  
 国立オリンピック記念青少年総合センター  
 10月20日(金)～21日(土)  
 大阪府羽衣青少年センター

どなたでも  
大歓迎!!

基調講演者

Hal &amp; Melanie Young

ハル&amp;メラニー・ヤング夫妻

ハル&メラニー・ヤング夫妻は、『Raising Real Men (男の中の男を育てる)』『No Longer Little (もう小さな子どもではありません)』『Love, Honor, and Virtue (愛と尊敬と徳)』等で受賞歴がある著者であり、「男の中の男を育てるミニストーリー」代表。夫妻は出版業を営み、ライター、ブロガー、著名な国際カンファレンスの人気講師も務めています。その講演は、キリストを中心とした実践的かつ実生活に即した内容です。息子6人と娘2人がいて、ノースカロライナ州でにぎやかで幸せな生活を送っています。

講演者

Joyce Inoue

ジョイス・イノウエ女史

チャイルドD(学習障害『LD』等支援ミニストーリー)代表。学習障害の専門家として40年余り従事。3人の子どもたちのうち2人の聴覚・視覚等の情報処理困難を訓練・克服させた。カリフォルニア州立大学院LA校特別支援教育修士課程卒。ラ・バーン大学元教授。アズサ・パシフィック大、フレズノ・パシフィック大学院、チア・カリフォルニア等で特別講師。全米の数千人もの子どもたちを助けつつ、教師やホームスクーラーを訓練。チア・コンベンション、白馬セミナー講師として5度来日。





## ハル&メラニー夫妻からのワンポイント子育てレッスンシリーズ1

# いつも泣き虫の息子を強く育てるために

Q 息子がよく泣きます。どうしたらいいのでしょうか。夫は「泣き虫を克服させなければ」と言うのですが、息子はとても優しい心の持ち主なのです。

感情豊かな子を育てることは時に大変です。我が家にも非常に感情豊かな子どもたちがいました。嬉しいときには有頂天になり、悲しいときには号泣します。そんな時親は、子どもの感情を否定せず、決して見下したり、罰したりもせず、同時に自制を教え、感情に流されて罪を犯さない方法を教えることです。

男性であっても適切な時には泣き、一方、自制が必要な時には涙をこらえる必要があります。

私たちがよく話して聞かせたのは、箴言 25 章 28 節です。「自分の霊を制することができない人は、城壁のない、打ち破られ

た町」。堅固な城壁がある町は、近くに敵が来ても意に介さず、相手を攻撃することもできます。しかし、城壁がない町には選択肢がありません。戦いを挑んでくる相手とは、戦うしかないのです。

我が家では、子どもたちに「感情も同じようなものだよ」と説明しました。感情をコントロールできなければ、周りの人や状況のなすがままです。状況や相手からの挑発によってコントロールを失ってしまうでしょう。「どんな時でも感情を抑えられなければ、他のこともコントロールできないんだよ」と教えると、責任を任せたい息子たちにはとても響きました。

ですから、男の子が泣き出した時には腕を回して慰めてあげましょう。その子の優しい心を大事にしましょう。子どもが落ち着いたら自制について話し、感情をコントロールする実践的な方法

をアドバイスしましょう。

- 祈り、神さまの助けを求める
- 深呼吸を 3 回する
- 散歩に行く
- 運動をする
- 聖書の言葉を暗唱する
- シャワーを浴びる
- 顔を冷たい水で濡らす
- その状況について良いことを 5 つ考える（おかしく思えることでも OK！）

なぜなら、最終的に男性はいつか夫や父親となった時、あるいは仕事をする上でも、感情をコントロールする必要があるからです。それまでにまだ時間はあってもいいかもしれませんが。

感情豊かな子どもは感情のコントロールを学び、その情熱を生産性のあるものに向けることで、世界を変える人になれるのです。育てるのには苦勞が伴いますが、素晴らしい大人に成長する可能性を秘めています。



## 奥多摩フィールドトリップ 参加者アンケート

### 「楽しかったあ！」の大満足

奥多摩の紅葉と青空、大自然の恵みを子どもたちや皆さんと満喫でき、「満足」と「感謝」の一日でした。五感がたくさん刺激され鮮明な記憶として残されそうです。

今回は鍾乳洞散策、マスのつかみどり、さばき方体験など日ごろできない体験を思いっきりさせてあげることができ、改めてチアのスタッフの皆様にも心から感謝を捧げます！

子どもたちも生き生きとしていて、「楽しかったあ！」の大満足です！

コロナ禍の影響もあり、身体を動かしたり、野外活動で得られる体験がなかなかできなかったりしてモヤモヤ?! することがあります。理科系の実験の機会もないので、皆さんと力を合わせて何かできたらいいなと日頃から思っていましたので良かったです。

(埼玉、Aさん)

### コロナ禍から解放された一日

とても楽しかったです。洞窟に子どもたちと行くのは初めてでした。所々他の神々の名が示されていましたが、「日本人は何かにすぎらないと不安があるんだね?!」と子どもたちに説明しながら回れました。幻想的な世界で、コロナ禍から解放された一日になりました。

コロナ禍を機にホームスクーリングを決断された友人親子とお会いできたことにも感謝します(チアとのコミュニケーションがあり、

孤立されていなくて感謝でした)。

キャンプ場もほど良い広さで、スタッフの方にも良くしていただき、ありがとうございました。(神奈川、Bさん)

### 貴重な体験

貴重な体験ができて良かったです。我が家だけでは行動できないお出かけだったし、ホームスクールの皆さんと同じ時を過ごせて素晴らしい思い出となりました。

数人の若者たちが、積極的に小さい子や他の家族のために働いている姿が見られて良かったです。(神奈川、Cさん)

### 自然と交わりを満喫

娘も私も奥多摩の自然を満喫し、他のホームスクーラーとの交わりもできて、とても楽しかったです。娘は初めての釣りで3匹も釣って大喜びでした。

全員の自己紹介の時間もあり、皆さんのことをよく知る機会が与えられ、良かったです。また、フィールドトリップや別の形でホームスクーラーと一緒に交わるイベントがあれば、すごく嬉しく、参加したいと思います。いつもお祈りしています。(東京、Dさん)

### エネルギーを発散

当日は雨がどうなるかなと思っていましたが、段々と晴れ、現地に到着する頃には真っ



青な秋の空が広がり、色付いた落ち葉とのコントラストが美しかったです。狭い峠道は大好きなので、楽しく運転できました。

鍾乳洞の急なアップダウンで汗をかきました。子どもたちはその中をグルグルと駆け回ったようで、エネルギーを発散しておりました。

ニジマスのつかみ取りと釣り堀での釣りは賑やかでしたね。つかみ取りでは稲葉さんも参戦していて、若いなあと思いつつ眺めておりました。

暮れ行く秋の一時を、多くのホームスクーラー同士で過ごせて何よりでした。旧交を温めながら、新しく見知った方々と共に交わりの時が持てて感謝でした。

天候も守られ、アクシデント等からも守られたこと、感謝でした。娘は帰り掛けに、「もう一度朝に戻してほしい。そうしたらまたみんなと楽しく遊べる」と、何とも可愛らしいことを言っておりました。

今回急に来られなくなった方々がおられると聞きました。次のチャンスに参加できると良いですね。(神奈川、Eさん)

## 特別な一日

秋の紅葉にも恵まれた素晴らしいフィールドトリップを企画して下さい、本当にありがとうございました。

ホームスクーラーの皆さんに直接お会いすることができ、特別な一日となったことを感謝しています。

息子も初めてたくさんのホームスクーラーのお友達と過ごすことができ、とても楽しかったようです。

イベントはもちろん、皆さんとの交わりの中で励ましを頂いたのが何よりでした。

コンベンションも今からとても楽しみにしています。(東京、Fさん)

## 神さまの創造の素晴らしさ

とても良かったです。マイカーを持っていないので、奥多摩駅からのマイクロバスがあつて本当に助かりました。バスの運転手さんも上手な方で、山道だったのにそんなに酔わずに済みました。鍾乳洞も初めて行ったのと、探検のような趣きでとても良かったです。階段は想像以上にきつく息が切れましたが、良い運動の機会になりました。

天気が守られ神さまの祝福を感じました(もちろん雨でも祝福はいっぱいだったと思いますが)。アウトドアで神さまの創造の素晴らしさをたっぷり味わうことができました。久しぶりにホームスクーラー仲間と会えたことも良かったです。新しい方も多くいらして、感謝です。(東京、Gさん)

## 子どもたちへの大きなプレゼント

たくさんの方にお会いでき、また名札や名簿、自己紹介のおかげで、参加されていた方の背景や家族像を伺い知ることができ、とても励みになりました。

鍾乳洞の探検や魚のつかみ取り、釣りの体験も、子どもたちへの大きなプレゼントになったと思います。どうもありがとうございます。

賛美の演奏も、自然と皆さんの人生のひと時を一体にしてくださった感じがして、感慨深かったです。鍾乳洞や釣り堀などで、お写真を撮ってくださった方々にも、お礼を言うことができませんでしたが、感謝致しております。(東京、Hさん)

## 楽しい交わり

雨もやみ、素晴らしい紅葉の中、集まることが本当に感謝でした。鍾乳洞の中は神秘的で素敵でしたが、新洞は思ったよりハードで大変でした(笑)。キャンプ場ではニジマス釣りや他のホームスクーラーとの交わりが、緊張しましたが楽しかったです。同じ県のホームスクーラーと話せたことが良かったです。

アウトドアの経験があまりないので、火起こしや釣り、魚をさばいたり炭火で焼いたりということが、身近で見られて良かったです。当日の写真一部送ります☆ (栃木、Iさん)

## 主の祝福を知る

前日までの雨にもかかわらず、当日はお天気が守られ、本当に素晴らしい神さまからの祝福の一日でした!! 感謝します。

多くの方にお声がけして、たくさん集まることができてとても良かったです。コンベンションがなかったのも、チアにお誘いする機会が少なかったのですが、新しい方も来てくださって、ホームスクールを通し主の祝福を共に知ることができました。

引っ越しで奥多摩は近くなりましたが、まだ鍾乳洞へ行ったことがなかったので、大変



良い機会でした。秋の季節を味わいながら、主の創造のミラクルも見ることができました。

ニューズレターからもたくさん励ましを頂いています。ありがとうございます!!!

(東京、Jさん)

## みことばにつながる体験

楽しませてもらいました。初参加でしたがホームスクールされている方と交わりが持てたことが感謝です。子どもたちの目が輝いていたのが印象的でした。

火の起こし方を教えていただく中で「細い木から燃やしていく」とおっしゃっていましたが、私たちの働きもまず家族という単位がイエスさまの愛を受け、小さな焚き火となって燃え、その火がまた他の家族へ燃え移っていくのかなと思いました。小さな細い木というのが印象的でした。イエスさまから用いられやすい細い木でありたいと思います。

今回の体験がすべてみことばにつながったところに驚きました。ダビデの話を思い出す洞窟探検、魚釣りや炭で魚を焼いて皆で食べたことも。イエスさまは復活後、弟子たちのためにじっくりと時間をかけ炭でパンと魚を焼いて下さったんだなと思い浮かべました。

またお交わりの機会が持てたら嬉しいです。それから洞窟でジョセフ君が積極的に挨拶してくださったのにはびっくりしました。初対面の人にも恥ずかしがらずにすごいなと思いました。

(宮城、Kさん)

## 詩篇のような楽しい交わり

久しぶりのチアの集まりは、とても楽しく嬉しい時間でした。最後の祈りで詩篇の御言葉が用いられましたが、その通りですね! 「見よ。なんという

幸せ なんとこの楽しさだろう。兄弟たちが一つになって「ともに生きることは」(詩篇133:1)。集まることが当たり前ではなくなってしまう今、集まって交わり、恵みを分かち合うことの喜びを感じました！

大自然の中で、過ごすのは良いですね！紅葉もきれいで、魚釣りもとても楽しかったです！懐かしい方々と会えるのも、もちろん嬉しいですが、新しくホームスクーリングを始めようとされる方々に会えたのも良かったです。

また、子どもたちが楽しめるプログラムを用意して下さい、感謝でした！寒いので(!)つかみどりは厳しいかも？と思っていましたが、子どもたちの笑顔が最高でしたね！ありがとうございました！ニジマスもとっても美味しかったです!!

(神奈川、Lさん)

### ある姉妹の証に感動

先日は素晴らしい日となりました。鍾乳洞やキャンプ場でのイベントなど、このような場を提供していただき、ありがとうございました。下の2人の子どもも良い経験ができました。キャンプ場の方も親切で感謝です。

子どもが直前に風邪を引いたり、妻がその看病で来られなくなるなど、いろいろとあり、到着時には私自身、疲れきっていました。しかし、分かち合いの時、ある姉妹の証を聞き、このために来たんだと確信しました。姉妹は、忙しい日々の生活の中、教会に仕え、仕事を通し人に仕えながら福音を伝えていました。その中でも、子どもたちをイエスさまに導こうと親の責任を果たそうとしている姿に感動しました。

というのも、私自身、子育てに悩んでいたからです。しばらくホームスクーリング(HS)をしておりますが、素晴らしい反面、難しさ

も感じています。バタバタとした生活の中で、成長し続ける子どもたち一人ひとりの心と向き合うことの難しさを感じております。聖書と照らし、子どもたちの心とどう向き合い、イエスさまへと導くのか。これがHSですね。

私たち夫婦もHSで悩み、祈り、成長させていただき主に感謝です。このような感謝な機会を親の私にも与えてくださり、チアへは感謝の言葉しかありません。これからもチアをメンバーとして支えていきたいです。

(埼玉、Mさん)

### <子どもアンケート>

#### 面白く、新鮮な体験

とても楽しい時を過ごせました。魚のつかみ取りも経験がなかったので、面白く、新鮮でした。久しぶりに会う友達も多かったので嬉しかったです。

(神奈川、N君)

#### 魚のさばき方教室が楽しい

すごく楽しかったです。特に楽しかったのは、魚のさばき方教室です。つりも楽しかったです。

(神奈川、Oちゃん)

#### つかみ取りが楽しい

つかみ取りが楽しかった。

(神奈川、P君)

#### たくさんの人とおしゃべり

洞窟の中がライトアップされててきれいでした！キャンプ場ではたくさんの人とおしゃべることができて、うれしかったです！魚がおいしかったです！

(神奈川、Qちゃん)

#### 大自然の中でリラックス

長時間語り合える場があったので、沢山の

方とコミュニケーションができ、とても良かったです。小さい子たちと久しぶりに遊べて、心がいやされました。大自然に囲まれてとてもリラックスできました。

(千葉、Rさん)

### 暗い洞窟も楽しい

洞窟の中が暗くて楽しかった。友達に会えたこともうれしかったです (o^-^o) ニ

(神奈川、S君)

### 思わず飛び込みたくなる

ニジマスのつかみ取りを見ていたら、思わず飛び込みたくなって、「いかんいかん」と必死になって抑えている自分がありました。釣りの方はあっという間に釣れたので、『楽』しかったです (^^;

(東京、T君)

### 楽しかった仲間との再会

久しぶりにホームスクーラーの仲間と会えて楽しかった。アップデートタイムがとても良く、もう少し近況を聞きたかった。いつもありがとうございます。

(東京、Uさん)

### 初めての魚のつかみ取り

鍾乳洞の中が思ったより広くて驚いた。登ったり降りたり楽しかった。どうしてこんな洞穴ができたのだろうか。水が流れて穴になったのですか。

池は水が冷たかったが、初めて魚を手でつかみ取りできて楽しかった。また夏に遊びに来たい。炭火焼きはすごくおいしかった。

(東京、V君)

### 初めての鍾乳洞

今まで行ったことがない鍾乳洞に行けたことが楽しかった。つりが簡単にできたことも

とても楽しく、良かった。(東京、W君)

### すぐに釣れてびっくり

鍾乳洞はとても楽しかった。階段が急だった。魚の池の水が冷たすぎて入れなかった。すぐに魚がつれてびっくりした。魚がすごくおいしかった。ぬるぬるして何度も落としたけれど、焼いて食べられて良かった。

(東京、Xちゃん)

### 楽しそうやってみたいくなった

魚のつかみ取りが一番楽しかった。初めは「寒いからやめようね」と家では話していたけど、楽しそうやってみたいとなった。でも寒かったから石の上にのった。石に隠れている魚がつかみやすかった。

魚のさばきも気持ち悪かったけど楽しかった。(宮城、Y君)



## チャーチ&amp;ホームスクーリング Q&amp;A シリーズ

## ホームスクーラーの小中学校における成績表について

< Aさん >

中学生の年齢となり、ホームスクーリング継続について、中学校側と、とてもスムーズに話し合いが進みました。その中で、「中学校の通知表がすべて1になる」という話がありました。

そのこと自体は伺っておりましたので、驚くことはなかったです。ただ、通知表がすべて1になるということで困ることは何だろうと考えた時、自分がよく分かっていないことに気づきました。このことで実際起こり得る困ったことと、さほど困らないことなど、伺わせていただければ幸いです。

< 稲葉 >

ホームスクーリングが中学校年齢まで到達されたこと、おめでとうございます。

通知表へのご質問も感謝です。この点も、特に心配されなくて、大丈夫です。各個人の通知表等、成績についての

文書は、5年経てば、消去されます。**学校教育法施行規則28条2項に、成績表等の保存期間は5年間**と明記されています。ご本人やご家族が気にしなければ、問題ありません。

そのため多くのホームスクーラーは、成績表は特に気にせず、様々な「実力の向上」を目指して努力を重ね、聖書に立つホームスクーリングに歩んできました。

多くの場合、高認や通信制高校等の成績により、国公立大学・専門学校、海外の大

学等に進んだり、就職されたりしています。特に小中学校時代の通知表の成績がマイナスになった事例の相談は、チアの22年余りの歩みの中で1件もありません。

裁判官・弁護士、医師、介護士、看護師、教師、建築士、航空整備士、公認会計士、国家公務員、裁判官、地方公務員、弁護士ほか、各種の公認資格や国家・公務員試験等にも、神さまの恵みと導き、そしてご本人たちの努力などにより突破され、活躍されています。



チア奥多摩フィールドトリップにて

## チャーチ&ホームスクーリング Q&A シリーズ



チア奥多摩フィールドトリップにて

### ■成績が影響するケース

一方で、通信表の成績に基づく内申点が必要なケースもあると思います。神さまが召された進路により、高校進学という導きを考えたケースです。例えば、スポーツ、音楽・芸術等の関係で全国大会や世界大会等を目指し、将来、その道を通してイエスさまの福音を伝えていく召しを確信したお子さんたちです。特別な技能を伸ばしていくために、高校に通学する必要が生じることもあります（団体競技等において、高校のインターハイや全国大会に参加し、好成績を収める必要があるケー

ス）。

その場合、希望する高校の試験の難易度によって、中学の内申点が必要になってくるケースが出てきます。その時は、ホームスクーリングマインドをもって気をつけ、祈りつつ、中学校とも話し合いながら、中間・期末試験や実技試験を受けたり、必要があれば出席をしたり、中学のカリキュラムに合わせて成績・内申点を獲得していく必要が出てくると思います。これまでホームスクーリングを通して積み重ねてきた良いものを深く傷つけるリスクもありますので、そこはよく祈り、慎重

に対応していく必要もあるとは思いますが。

それ以外のケースでは、先ほども書いた通り、ほとんどのホームスクーラーが通知表の結果に左右されることなく、特に問題なく進んできています。それぞれの子どもさんたちへの導きをよく祈って、主にあって恐れることなく、ご判断いただければと思います。

< Aさん >

ご説明くださり、大変感謝です。よく理解でき安心いたしました。これからもよろしく願います。



## ♪ Voice & Mail ♪ ボイス&メール

- 我が家は、長男が2022年に就学年齢になり、本格的な学習がスタートし、試行錯誤しながら日々過ごしています。  
家族もまた増え(昨夏に双子が生まれ8人家族になりました!!)、喜びを感じつつもバタバタと慌ただしい毎日です。チア・につぼんの働きに主の助けがあるように祈ります。尊い働き、心から感謝です。(Aさん)
- 現在、母子家庭なので、私は仕事に行き、子どもたちは学校に行っています。長年ホームスクーリングだったので、ホームスクーリングマインドと主の教えを伝えていきたいと思っています。引き続き、よろしくお祈りします。(Bさん)
- 稲葉さんからの電話、感謝でした。「私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰まることはありません。迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません」(2コリント4:8,9)を示されています。送ってくださった書籍は、ホームスクーラーの知人にも喜ばれています。(Cさん)
- 我が家への力強い励ましの電話とお祈り、心より感謝いたします。今後ともよろしくお祈りいたします。(Dさん)
- 先日はニュースレターなど、ありがとうございました。マット&跳び箱セミナーの実施内容を伺えて良かったです。チアのセミナーはいつも祝福にあふれていますね！  
子どもと過ごせる時期もあっという間に過ぎてしまいます。今年のチア企画も皆様が本当に楽しまれ、神さまの祝福が満ちあふれますように祈ってます。(Eさん)
- 私は、昨年7月末と9月に、丸森の伝道チームと共に伝道してきました。9月は特に、御言葉の看板貼りを中心に岩手県で活動しました。  
初日は全くビスが入らず苦心し、仕上げのアクリルスプレーに慣れるまでにも10日ほど要したと思います。  
しかし、訪問伝道のように家主さんと対面で交渉することから始まり、聖書の言葉を貼ることは、まさに申命記の「門柱に御言葉を書き記す」です(実際は、門柱ではなく小屋などに貼りましたが。。)。  
伝道前、両親から「現代はクリスチャンではなくても御言葉を求めている人が多くいる」と聞いていましたが、確かに、御言葉や「キリスト」と聞いた人たちは、何か心に響いたような顔をしていました。  
親元から半月以上も離れたのは初めてで、今回の伝道では、屋外だからできる生きた経験を数多く積むことができました。最終的に、9月は看板を50枚貼り、古い看板の掃除もそれ以上にこなすことができました。実際に世に出て行って、キリストを紹介する良い第一歩となったことに感謝しています。(Fさん)
- 先日はホームスクーリングと家計、子どもの教育について電話にてご相談させていただきました。ありがとうございました。助かりました。  
その後、子どもたちが眠っている早朝2時間だけのパートを行い、帰宅後ホームスクー

ルを行うという日々を過ごしています。

大丈夫だろうかと心配もしましたが、実際行ってみますと、朝ごはんの支度などは子どもが行い、自主性を学ぶ機会となっています。このことから神さまが育ててくださっている様子が分かります。神さまのなさることの素晴らしさに、改めて感謝している毎日です。

稲葉さんにご相談させていただきました長男も、ホームスクールを開始して6年がたち中学入学の時期となりました。先日、中学校から連絡があり、ホームスクールのお話をさせていただきました。神さまの守りの中で特に反対されることもなく、こちらへの信頼を得ることが出来た様子を伺え、感謝でした。

皆様のお働きにますます神さまからの祝福と導きが豊かに豊かにありますように祈ります。いつも深く感謝しています。(Gさん)

- 今月の巻頭言でレポートのあった、高校進学のための中学の出席日数の件は、うちの家族にとっても重要な課題です。

ホームスクーリングで育てている二男、三男は、剣道の県大会である程度の成績を残しているため、高校年齢でも剣道を続けたいのです。でも、現状ではインターハイ等の大会は、個人戦も全日制の高校しか出場できません。

それで、地元で剣道の名門である私立高校への入学を考えていますが、中学の出席日数等でハードルがあるというのが現状です。

高校は、在籍して剣道ができれば、卒業等は特にこだわりありません。長男が高認のみで、高校は在籍せず、国立大に合格できたのと同様に、高認を受ければ進学できるので、うちとしては全く問題を感じていません。

ホームスクーリングを優先的に行いながら、高校(剣道)生活が可能になれば良いな

と今は思っており、チアの働きに感謝しています。

このテーマでの国会、文科省との展開により、ホームスクーリングへの理解がさらに進むことを心よりお祈りしております。

(Hさん)

- 「殉教 - 信仰の圧倒的な勝利」 「マガジン 32号」 注文します。稲葉さんからのあたたかいメールを、嬉しく、懐かしく読んでいました!! 家族みんな元気です!! 長女をはじめとして、ホームスクーリングを通して受けた恵みは計り知れません。

子どもたちも、次々にそれぞれの道に進んでいます。子どもたちに対する妻の実務的なサポートの素晴らしさに支えられ、私は、父、家長として、家族全員に対する霊的な領域での大きな責任が与えられていることへの重圧、そして時間の進みに対する切迫感で、あつという間に今日を迎えています(笑)。

伝道も示され、少しずつ始めています。渋谷の道玄坂でポールさんや丸森の皆さんと出逢ってから30年、チアを通して再度、丸森の皆さんたちと出逢って、伝道の種を蒔いてもらってから10年、本当に時間がかかりました。

今、地方公務員をしながら市内で伝道活動をしています。この年末年始は、関東、関西で伝道活動をしてきました。

信仰者の交わりって恵まれますね!! 機会があれば、お食事でもしながらゆっくり積もる話をあれこれ分かち合えたらと夢を膨らませているところです(笑)。

日々ご多用のことと拝察します。主の護りと大いなる祝福が稲葉さんご家族とチアのお働きにありますようにお祈りしてます!!

(Iさん)

●我が家のホームスクーリングは、現在高校1年生の長女が小学生になる時に始め、10年目になりました。次女は中学2年生、長男は小学3年生で、主のお力を頂いて、日々試行錯誤をしながら進んでいます。主の御言葉を土台に、子どもたちと共に過ごせる時を感謝しています。

さて、長女の恵真が稲葉さんにぜひ証と報告をしたいことがあり、メールを書きましたので、添付します。(谷井涙賀・玲子)

\* \* \*

お久しぶりです。谷井恵真です。いつもチアのお働きありがとうございます。マガジンやニュースレターにも励まされています！

日々、難しいこともあります。ホームスクールへと導いてくださった神さまと両親に本当に本当に感謝しています。

朝のデボーションから始まり毎日、平安と



喜びで満たされています。兄弟とも楽しく学んでいます！

前回のメールで父も書きましたが、昨年、側湾症の手術を受けました。小学4年生の時に発見されて、約4年間コルセットを着けて治療していました。しかし、側湾症が進んだので、手術を受けることにしました。

4年間の治療と、手術、入院により沢山のことを教えられ、みことばからの励ましをいただきました。

初めの頃は、「なんで私が。。。」でしたが、今は「神さま、この病気を与えてくれてありがとう！」と言えるまで信仰の成長をいただきました。側湾症を通して、ホームスクールで良かった！と心から思いました。

頂いた経験から、将来は医師になってイエスさまの心をもって寄り添い、治療し、福音を伝える者になりたいと志が与えられました。これからも神さまの御心を求めて日々歩んでいきたいと願っています。

次回のコンベンションではLITもしたいです！ よろしくお祈りします。

P.S 昨年行われた県の英語スピーチコンテストで金賞をいただきました！ 本当に神さまに感謝です！ これからも主の栄光を表すために挑戦していきたいです！



2022年度(第32回)  
**グリーンバンク杯山梨県小・中学生英語コンテスト**  
 - Greenbank Memorial English Contest -

●長年、ホームスクールで子どもたちがお世話になりました。どうしてもお礼を伝えたく、ペンを執らせていただきました。

長年、支えていただきました子どもたちは、ホームスクールを経て、主が導かれた新しい道を歩み始めております。

2013年からお世話になりました長男は、ホームスクールでの自宅学習によって、慶応義塾大学経済学部合格。その後、東京で一人暮らしをしながら、無事2022年3月に卒業できました。現在は東京駅近くの手コンサル会社に入社し、新社会人として働いております。

長女は、2010年～2018年までホームスクールを行っておりましたが、「高校は学校に通ってみたい」との本人の熱い希望で、急きょ内申の影響が少ない高校へ進みました。卒業後、無事に同志社大学神学部へ入学し、現在は大学2年生となり、充実した大学生活を送っております。

神学を通してさらに信仰を深めたいと願っておりました娘にとって、同志社での学びの日々は、友人や教授にも恵まれ、霊的にも知的にも祝福された充実した日々です。

振り返りますと、ホームスクールを始めたころは、遠方の那覇ということもあったのか、ホームスクールやフリースクール等はほとんど認知されておらず、当初は暗中模索の状態でした。そのような手探り状態の中で出会ったのが、「チア・にっぽん」です。信仰を基盤とした教育こそ長年求めていた教育でした。

「親の愛と聖書に根ざした教育」、これ以上に勝る教育がありますでしょうか。神の導きに感謝です。

その後、長年にわたりホームスクールの『チア・マガ

ジン』やニュースレターを定期的に送っていただきました。

この多くの支えによって、親子共々、長年にわたり鼓舞され、真理によって道を切り開いていただきました。

振り返りますと、試練を上回る多くの祝福と神さまの守りの中で、長男と長女を育てることができました。2人とも、篤い信仰を持ったキリスト者として成長しました。

当初、ホームスクールに猛反対しておりました主人でしたが、霊的にも人格的にも豊かに育つ子どもたちの成長を目の当たりにしていく過程で、いろいろと考え直すことがあったようです。次第にホームスクールを応援するよう変えられていきました。今では、ホームスクールという教育のあり方がどれだけ価値があったかを語ることのできる人へと変えられました。

結果的に、子どもたちだけでなく、私たち夫婦も豊かに成長することができたのです。これほどまでに大きな恵みを賜りましたことを改めて、親子共々心よりお礼申し上げます。

小さな者たちですが、神さまの変わらぬ豊かな祝福がありますよう、親子共々心より祈っております。  
(Jさん)



## ●カナダへの留学の扉開かれました！

### 2022年初夏

メールで進路や将来のことについてお伺いしたのが、2020年の春頃だったかなと思います。丁寧なお返事をくださって、ありがとうございました。

その後、祈りつつ、海外留学の準備を始め、カナダのカレッジに合格することができました。すごく感謝で、常に神さまのご計画を感じさせられることばかりです。

合格基準の点数になかなか届かず、もう嫌になりかけて「全部委ねます！ 私の英語力じゃなくて、あなたの力を見せてください！」と祈った直後に、合格点ぴったりのテスト結果が届き、もうこれは御心なんだな…と思いました。お祈りくださり、ありがとうございます。いつも神さまが喜ばれないようなことばかりしている私なのに、神さまはちゃんと私を導いてくれているんだと思うと、感謝だなと思います。

これからもっと勉強も環境も大変になると覚悟してますが、イエスさまはいつも私に最善を与えてくれるという確信があるので、頑張りたいです。

カレッジは、カナダ・ブリティッシュコロンビア州のクランブルックという小さな町にあります。祈っててください。

### 2023年冬

大学に受かった後も、ビザの許可やコロナ禍での手続きなどがありました。どんなに

ぎりぎりに思えてもすべてが間に合い、予定どおりカナダに行くことができました。

初めての寮生活と初めての学校です。でも、教授の皆さんやサポートして下さる方に恵まれ、内容は大変でも何とか頑張っています。

また、良い教会が見つかるようたくさんの方にお祈りしていただきました。そして、ある方の紹介で、とても良い教会を見つけることができました。教会の牧師ご一家も何とホームスクーラーで、神さまがここへ導いてくださったんだなあと思います。

留学を決めてからずっと、たくさんの方の祈りに支えられ、ここまで来ることができました。本当に全てに感謝です。何より、このご計画を私に与えてくださり、一つ一つ導いてくださった神さまに感謝します。

まだまだ始まったばかりで、大変なことが多いですが、神さまの御心なら必ず成就すると信じています。これからも神さま一番に過ごしたいと思います！引き続き、よろしくお祈りします。

大学の写真を送らせて頂きます！ - 25°の日もあり、とても寒いですが、室内は暖かいです。

(Kさん)



先日は、貴重なお時間を割いていただき、就職活動の面接等、ご指導いただき、誠にありがとうございます。

就職活動をする中で、これまで自分が歩んできたホームスクールをどのように企業側に伝えればよいか悩んでいたため、稲葉さんから直

接ご助言を頂きまして感謝しています。

これからも就職活動のためにお祈りいただけますと感謝です。

(Lさん)



## ホームスクーラーの ai さん、16年ぶりの伝道コンサートへ！



岡山県でホームスクーリングをしている ai さんが、昨年10月22日、ご家族と共に16年ぶりに賛美コンサートのステージに立ちました。aiさんは、ご主人と共に2014年から4人の子どもたち（10～14歳）をホームスクーリング中。チア・コンベンションなどで、ご家族で賛美リードをしてくださってはいましたが、結婚後、ソロとしての活動は控え、出産・子育てに力を注いでおられました。

同じくホームスクーリングをされている福岡県のゴスペルシンガーで、コンサート主催者の「RAM's Voice」さんご夫妻から、「Gospel Alive! ゴスペルアライヴ」と銘打ったジョイントコンサートの出演者の一人として、サルキーさんと共に招かれました。

「私には思いがけない機会です、感謝してい

ます。子育て優先だったため、音楽活動としては、実に16年のブランクを経ての神さまの不思議なお導きです。ちょっと緊張していますが、福音を受け取り救われる方が一人でも起こされるよう、祈りながら行いました。家族でも歌え、このような日が来るなんて、本当に感謝でした」と ai さん。

1曲はご家族で賛美をされ、チア・パーカーを着てステージに立たれました。「(aiさん)チア・パーカーが入った宅配便を受け取った時、子どもたちからも歓声があがりました。サイズもぴったりでした！」とのこと。

賛美コンサートは主が大いに祝福され、ai + family, Ram's Voice さん、サルキーさんらと一緒に、豊かに用いられたようです。16年ぶりのコンサート、感謝です！



## 追悼 テモテさんに働いた神の業 Part2

チアの皆さんを20数年にわたって愛し、助けてくださったテモテ・ブローマンさんが2022年8月28日、天に召されました。65歳でした。

余命1カ月と診断されてから約10年、奇跡の闘病・伝道、ご家族との日々が続きました。前号に続き、テモテさんを通して働いた神の業について深い感謝と追悼の意も込め、メンバーから寄せられた証しを掲載させていただきます。

### ●伝道の喜びと恵み

25年ほど前、聖書の翻訳者として、私はテモテさんと初めて会い、その後、A国のB社で、何度も良き交流をいただきました。とても励まされ、いつまでも忘れられない経験でした。

A国で、テモテさんは勇気と知恵をもって、いろいろな機会を失わず、社員やその家族、仕事関係者たちに熱心に主の福音を宣べ伝えていました。テモテさんから福音を聞いた人は大勢います。

14年前の夜、私はテモテさんと、ある弁護士の家を訪問しました。その方は昔、地方警察の署長を務め、今は弁護士として法曹界や教育界などで活躍しています。彼は無神論だったので、主の福音を受け入れるのは最初は難しかったです。

しかし、長年にわたりテモテさんから何度もみことばを聞き、彼は真剣に考え、主イエス・キリストを信じる決心をしました。

その夜、7人で小さな集会を開き、その弁護士の家で洗礼式を行いました。彼は「今日は私の新たな誕生日です！」と大変喜んでいました。

クリスチャンになった彼は家を開放し、ホームチャーチを始めました。そして主の愛、救い、恵みを人々に証ししています。

テモテさんに伝道の情熱を与え、道を開かれた神さまをたたえます。テモテさんが神さまの恵みと助けによって実践した素晴らしい主の愛、憐れみは、今なお人々に伝えられています。私も神さまの恵みによる伝道の道を歩みたいと思います。

将来、共に天の家——主イエスさまが用意された天の都（永遠の天国）で喜びをもってお会いしたいです。「私は勇敢に戦い抜き、走るべき道のを走り終え、信仰を守り通しました。あとは、義の栄冠が私のために用意されているだけです」（Ⅱテモテ 4:7-8）

主にありて (A国 Cさん)

チア・にっぽん カレンダー

● チア・コンベンション 2023

【東京】 2023年10月13日（金）～14日（土）  
東京オリンピックセンター

【関西】 2023年10月20日（金）～21日（土）  
大阪府羽衣青少年センター

【講師】

◆ハル&メラニー・ヤング夫妻

（「男の中の男を育てるミニストーリー」代表）

◆ジョイス・イノウエ女史

（学習障害（LD）等を助けるチャイルドD代表）

【2022年8月～12月会計】

- 収入 -	
献金	8,585,826
書籍・マガジン・教科書	394,421
DVD/ビデオ/CD	75,485
会費	283,000
広告	165,000
その他	530,715
	10,034,447

- 支出 -	
事務局経費	6,345,429
通信運搬費	290,658
交通費	68,808
印刷費	292,237
	6,997,132

残高	3,037,315
前月繰越	8,206,374
翌月繰越	11,243,689

※皆様からの尊いご献金と会費を  
心から感謝申し上げます。

お振り込み先

■郵便振替 00190 - 3 - 35461

チア・にっぽん事務局

■銀行振込 三菱 UFJ 銀行 赤羽駅前支店（普）

1746716 ホームスクーリング・ビジョン

チア・にっぽん WEB

★ブログ 随時更新中★

チア・にっぽんのホームページでは、ニュースや有益な情報などを随時 Blog で更新しています。ぜひ時々、チェックしてみてくださいね (^\_^)/

⇒ <https://www.cheajapan.com>



チアホームページ



チア Facebook も！

こだわり自然食品・アレルギー対応食品のお店

**ヨーゼフ**

アレッ子の味方！

グルテンフリー アレルギー対応

小麦 乳 卵 落花生 そば えび かに

管理栄養士があつめた 250 以上の厳選食品

ヨーゼフとは ...  
「ここで買えば安心」な  
食品が集まっているお店



アレルギーをお持ちの方、グルテンフリーをしてみたい方、ベジタリアンやヴィーガンに興味がある方、オーガニックや無添加を選びたいという方のために、黄緑の看板の小さなお店をつくりました。日本各地の食の安全を求めている方には、オンラインショップからヨーゼフの食品をお届けしています。

全て併設クリニックの管理栄養士が実際に作ってこだわって厳選した食品です。とっておきの「身体がよくなるおいしさ」を必要な人に届けたい、その想いを叶えていきます。

●オンラインショップ  
<https://yozephonline.com/>  
organic.yozeph  
スマホでチェック